

2023年10月

受験生の皆さん

南山大学理工学部

2025年度入学試験からの一部入試方式における「情報」の試験の導入について

どのように「情報」を導入するのか

南山大学理工学部では、2025年度入学試験から一部の入試方式において、教科「情報」の試験を導入します。具体的には次のとおりです。

- 全学統一入試〔個別学力試験型〕において、出題教科「理科」を「理科・情報」に変更し、大問ごとに「物理基礎、物理」「化学基礎、化学」「情報Ⅰ」のうちいずれかを選択する形式にします。これにより、「情報」が得意な受験生には選択肢が広がります。一方、そうでない受験生も「物理」や「化学」を選択できますので、不利益はありません。
- 共通テスト利用入試〔前期5教科型〕において、従来の5教科に「情報」を追加し、6教科にします。国公立大学の受験等のために「情報」を勉強した受験生には、勉強の成果を活かしてもらうことができます。

これから情報技術がますます重要に

近い将来到来すると言われる「Society 5.0」の社会は情報技術が基盤であり、これからは情報技術を身につけることがますます重要になります。南山大学理工学部は、2000年に数理情報学部として開設して以来、情報技術を中心とした学部として発展を続け、現在では次の4学科で構成されています。

- ソフトウェア工学科（定員 70 名）：ソフトウェア工学を専門とする日本に数少ない学科
- データサイエンス学科（定員 70 名）：数学と情報科学を基礎とする理系のデータサイエンスを学ぶ学科
- 電子情報工学科（定員 65 名）：最先端の電子デバイスから大規模な情報システムまでを系統的に学ぶ学科
- 機械システム工学科（定員 65 名）：ロボットから航空宇宙機まで—モノに知能を与える情報技術を学ぶ学科

南山大学理工学部に入學すると、これら4学科のいずれかに所属し、その分野の専門性を身につけることができます。それだけではなく、所属学科の専門以外にもう1つの専門性を身につけることのできる副専攻制を採用しています。

南山大学理工学部は情報技術教育をリードします

南山大学理工学部が他大学に先駆けて入試に「情報」を導入するのは、当学部が立地する

中部地域において、情報技術教育をリードしようという意欲と責任感の現れです。当学部を受験する皆さんには高校で「情報」をしっかりと学んでもらいたいと考えています。また、「情報」に興味を持つ皆さんを応援したいとも考えています。「情報」を学び、興味をもって当学部に入學した皆さんが、情報技術の基盤の上に2つの専門性を身につけ、社会で活躍できるようにすることで、この地域に貢献したいと考えています。

情報技術を基礎から学び、力をつけられるカリキュラムです

一方、「情報」は得意でないという皆さんもいるかもしれません。南山大学理工学部では、そうした皆さんも情報技術を基礎から学び、力をつけられるカリキュラムを整えています。入學した学生には全員に最新のノート PC を貸与します。1年次の「プログラミング基礎」「プログラミング応用」の授業は、丁寧な指導に加えてティーチング・アシスタントの支援も充実しており、基礎からプログラミングを学べます。2年次では、学科ごとの専門的なプログラミングを学び、さらに力を伸ばすことができます。

意欲ある受験生を待っています

南山大学理工学部ではこのように、入學したすべての学生が、力をつけ、成長し、情報技術を基盤とする新しい社会で活躍できるようにする環境を整えています。意欲ある受験生の皆さんをお待ちしています。